

## 検査受託中止および検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査受託の中止および検査内容の変更をさせていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■最終受付日 2026年 5月 30日（土）ご依頼分をもって受託中止

## ■検査受託中止項目

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	中止理由	代替項目
94	4501 4Z010	レニン活性(PRA)	項目集約の ため	[4571]レニン濃度 (ARC)
	4589 4D120	PAC/PRA比 (アルドステロン/レニン活性比)(ARR)		[4572]PAC/ARC比(アルドステロン/レニン濃度比) (ARR) 詳細については下記代替項目参照

■受託開始日 2026年 6月 1日（月）ご依頼分より

## ■新規(代替)項目

項目コード 統一コード	検査項目	検査方法	基準値	所要日数	備考
4572 4D122	PAC/ARC比 (アルドステロン/レニン濃度比) (ARR)	計算法	20未満	2~4	必ずアルドステロン(PAC)・レニン濃度(ARC)と 同時にご依頼下さい。基準値は、日本内分泌 学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドラ イン2021」によるカットオフ値です。 ★00

裏面もご確認下さい

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社お客様窓口までお申し付けください。

■実施日

2026年 6月 1日 (月) ご依頼分より

■変更項目および変更内容一覧

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
94	4571 4Z020	レニン濃度(ARC)	採取量(mL)	血液 2	血液 2	測定先を変更する ため
			必要量(mL)	血清 0.5	血漿 0.5	
			容器	01(一般採血容器) 21	08(EDTA2Na入容器) 21	
			保存	血液 室温 血清 凍結	血液 冷蔵 血漿 凍結	
			基準値	2.21~39.5 pg/mL	2.21~39.49 pg/mL	
			所要日数	2~4	4~5	
			備考	採血時間は午前が推奨されています。採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。冷蔵保存した場合、レニン濃度の上昇が認められます。EDTA血漿でも検査可能です。 ★00	採血時刻、安静度、体位によって測定値に差が出ますので、早朝空腹時30分間安静後の採血を推奨します。採血後、できるだけ速やかに遠心分離して下さい。4℃前後では冷却活性化によるレニン濃度の上昇が認められる場合があります。血清も検査可。 0BB	
4151 4D115	アルドステロン	採取量(mL)	血液 2	血液 2	委託先における 変更	
		必要量(mL)	血清 0.5	血漿 0.5		
		容器	01(一般採血容器) 21	08(EDTA2Na入容器) 21		
		保存	血液 室温 血清 凍結	血液 冷蔵 血漿 凍結		
		備考	採血時間は午前が推奨されています。採血は座位で15分間安静後をお勧めいたします。EDTA血漿でも検査可能です。	早朝空腹時30分間安静後に採血して下さい。血清でも検査可能です。		